

＜熊毛地区社会教育主要事業実績＞

月	日	曜	事業名	会場	出席者数
7	2	木	地区文化財保護審議会委員等研修会	中種子町立中央公民館	36人
11	28	土	県PTA活動委嘱公開	屋久島町立神山小学校	誌面開催
12	5	土	地区子ども会ジュニア・リーダー養成研修	屋久島環境文化村センター	31人
2	2	火	地区社会教育指導者研修会 (PTA・女性団体・高齢者団体), 人権教育ブロック別研修会, 社会教育委員等研修会, 自治公民館経営研究会	西之表市民会館 屋久島町役場 (オンデマンド配信)	100人

熊毛の社会教育

令和三年二月発行
熊毛地区社会教育振興会

熊毛地区社会教育振興会では、地域・家庭・学校・行政・関係機関等の連携が更に深まり、熊毛地区の社会教育がますます充実・発展することを願ってリーフレット「熊毛の社会教育」を作成しています。ぜひ御一読いただき、本地区の社会教育の更なる充実・発展に御理解と御協力を願います。

一・二ページには、地区主要行事が、三〜六ページには、一市三町の特徴ある事業等が掲載してあります。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止相次ぐ...

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から延期や中止になる事業が数多くありました。開催日直前で中止が決まることもあり、出席予定の皆様には御迷惑をおかけしました。開催できた上記の事業では、感染症対策を講じ、出席者の御協力のもとに充実した研修を行うことができました。今後とも感染症対策を十分にとりながら、できる限り社会教育の学びの場を設けていけるよう努めます。

文化財保護審議会委員等研修会

令和二年七月二日(木)
中種子町立中央公民館(三十六人)

県教育庁文化財課の住吉啓三文化財主事と今村結記文化財主事の講話では、「文化財の保存・活用等に関する施策」「地区内の国・県指定の史跡」等について詳しく話していただき、理解を深めることができました。

研究協議では、屋久島町文化財保護審議会委員の市川聡氏に「横峯遺跡の保全と活用」について事例発表をしていただきました。春牧横峯縄文クラブの誕生秘話や堅穴住居復元プロジェクト等の活動例に関心を抱いた出席者からは、多くの質問が出され、活発な意見交換の場となりました。

最後に、開催地の中種子町から町指定文化財「大平橋」の紹介がありました。長年、農道として活用され、土や雑草に覆われていましたが、町職員の努力により美しく整備されていく様子が分かりました。



【講話の様子】



【「大平橋」の紹介】

県PTA活動研究委嘱公開

令和二年十一月二十八日(土)
屋久島町立神山小学校

神山小学校PTAでは、「親子で学ぶ生きる力」〜神山PTAチャートを活用した取組〜を研究テーマに実践を積み重ねてきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から誌面並びにホームページ掲載での開催となりましたが、PTA会員が学ぶ貴重な機会を御提供いただきました。

神山PTAチャートとは、保護者アンケートの結果をもとにPTA活動が子供たちの「生きる力」へと向かう道筋を分かりやすい表にしたものです。これを活用してPTA活動の意義を共有したことで、保護者同士のつながりが深まり、子供だけでなく保護者にも「生きる力」が身に付いた取組となりました。

今後も、子供一人一人の健やかな成長を目指して、学校、家庭、地域が一体となり、郷土のよさを生かしたPTA活動が展開されることを期待します。

神山小学校ホームページにて研究誌PDF版が公開されていますので、御覧ください。



【研究誌より一部抜粋】

【神山小学校ホームページ】

www5.synapse.ne.jp/kamiyama-es/

子ども会ジュニア・リーダー養成研修

令和二年十二月五日(土)

屋久島環境文化村センター(三十一人) 地区内の子ども会ジュニア・リーダーが屋久島町に集い、交流を深めました。

活動発表では、パワーポイント等を用いてコロナ禍における創意工夫を凝らした活動の様子や課題等を発表し、互いに刺激を受けた様子でした。

研修Ⅰ「KYTの実践」は、交通安全を課題に設定し、実際の映像を見ながら危険箇所について話し合いました。研修Ⅱ「競技デイベート」では、初めて会う出席者が多い中、皆さんの意見を出し合うことができました。自分の意見をしっかりと伝えることの難しさを感じたり、他者には多様な考え方があるということを感じたりしながら、次第にチームの意見を的確にまとめて述べられるようになっていきました。

感染症対策のため交流時間が短く、別れの際は名残惜しい様子でしたが、今回の出会いや学びを大切にしながら、今後もリーダーとして各地域で更に活躍してほしいです。



【パワーポイントを用いた活動発表】



【マスクを一瞬だけ外して】

出席者の感想より
バイクに乗ることが多いので、今後もっとしっかりとした気持ちで運転していきたいと思う。自分が思ったことや感じたことをグループの人と共有できて、気付かなかったことにも気付くことができた。
回数を重ねるごとに、より多くの意見を出せたり、うまく言葉を選んだりすることができ、成長できたと思う。
性別・年齢が違う人とのコミュニケーションは、少し苦手意識があったが、話していくと慣れたので、これからはより積極的にコミュニケーションを取るように心がけていきたい。

社会教育指導者研修会(PTA・女性団体・高齢者団体) 人権教育ブロック別研修会 社会教育委員等研修会、自治公民館経営研究会

令和三年二月二日(火)

種子島会場…西之表市民会館(八十六人) 屋久島会場…屋久島町役場(十四人)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンデマンド配信による開催となりました。また、多くの社会教育関係者に視聴して地域づくりに生かしていただけるようDVDを作製し、各市町教育委員会に配布しました。



鹿児島大学法文学部准教授 金子満氏 「地域学校協働活動の充実に向けて」 一人一人の個性を尊重し、幅広く人がつながり、様々なアイデアが生まれる地域学校協働活動を目指しましょう。人々の信頼・つながり・協働が学校・地域を救います。



西之表市人権擁護委員 榎本和枝氏 「コロナ禍における人権教育の推進について」 新型コロナウイルス感染症の感染者や医療従事者等に対する誤解や偏見に基づく差別は、決して許されません。デマなどに惑わされることなく、冷静に行動することが求められています。

受賞おめでとうございます

令和二年度各種表彰

※敬省略

- ◆九州地区子ども会育成連絡協議会表彰 丸田 健次 (西之表市)
- ◆県子ども会育成連絡協議会表彰 上石寺子ども会育成会 (西之表市) 増田校区子ども会育成会 (中種子町) 徳永 真一 (中種子町)
- ◆熊毛地区子ども会育成連絡協議会表彰 峯子ども会 (西之表市) 油久校区子ども会 (中種子町) 平野集落公民館青少年育成部 (南種子町)
- ◆優良少年少女団体及び地域高校生クラブ等表彰 高平子ども会 (屋久島町)
- ◆九州ブロックPTA協議会表彰 屋久島町立宮浦小学校PTA
- ◆熊毛地区社会教育関係優良団体及び個人表彰 人形劇団ゆびきり (西之表市) 河野 眞佐子 (西之表市) 林 良和 (南種子町)

【編集・発行】

熊毛地区社会教育振興会事務局 住所 西之表市西之表七五九〇番地 熊毛教育事務所内 電話 (〇九九七) 二二一〇五三五 FAX (〇九九七) 二二一〇五二一

西之表市

まなびの輪
にしのおもて

「波濤を超え、全国どこでもたくましく生き抜くことのできる力を備えた人間育成」、「郷土振興に情熱を燃やし、郷土興しの原動力たり得る人間育成」をスローガンとし、「ひとりだちの教育」を本市教育の基本理念としています。

ふるさとまなび隊

「ふるさとまなび隊」は市内の小学三年生から小学六年生を対象とし、様々な体験学習を通して、ふるさとの自然や文化などを学び、また異年齢で交流することで豊かな人間関係や規範意識、社会性を養うことを目的としています。

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、屋外での活動のみとし、定員数や活動時間の規模縮小を講じての活動となりました。

① 川の生き物を見つけよう！

新型コロナウイルス感染症拡大防止や悪天候による活動中止が相次ぎ、八月の活動が令和二年度最初の活動となりました。参加者十五人での活動となり、立山校区の早稲田川で様々な生き物を見つけて楽しみました。しばらく続いた晴天のおかげで川の水位が安定しており、安全面においてもよい状態で活動を実施することができました。

最初は味噌をエサにダクマ（テナガエビ）を捕ることに挑戦しました。子供たちが水の中を動き回るのでダクマ

は隠れて姿を見せてくれず、また出てきたとしても動きが素早く、なかなか捕まえることができませんでした。カニやハゼを捕まえては歓声を上げて喜ぶ子供たちの姿があり、それぞれに楽しい川遊びとなりました。活動の後半では、竹竿を使って魚釣りに挑戦する子供たちもいました。エサのつけ方や、釣れた魚から針を外す方法などを、上級生が下級生に教えている姿が見られました。



ダクマ捕りの様子

② 考古学体験

十月の活動では、市内の遺跡見学と発掘模擬体験を実施しました。

参加者二十一人での活動となり、活動の前半は、今から約六百年前の人骨が発掘された伊関校区の小浜遺跡（おばまいせき）の見学を行いました。遺跡へ移動するバスの中では、開発総合

センター鉄砲館に勤務する文化財係職員から、考古学・遺跡・発掘調査についての説明を聞きました。

小浜遺跡見学では、職員からの説明を受け、昔の墓地であったと推測されることや、まだ多くの遺跡が埋まっている可能性が高いという話に興味津々の様子でした。

活動の後半では、沖ヶ浜田海岸に移動して、土器の発掘模擬体験を実施しました。対象物に触れないように、ジョレンと呼ばれる道具やスコップを使って慎重に発掘作業を行いました。

考古学について、学習から発掘模擬体験まで、普段触れることのない貴重な時間を過ごすことができました。



発掘模擬体験の様子

③ 8km遠行に挑戦！

十一月の活動では、市民会館からあつぽくらんどの遊具広場までの8km遠行に挑戦し、十六人の参加者たちが無事に完歩しました。

当日は天候に恵まれ、秋晴れの中を心地よく歩くことができました。休憩所ごとにお題を準備し、ウォークラリーの要素も盛り込み、楽しみながら活動できました。コースの後半は上り坂が続きまし

が、子供たちは疲れている様子もなく目的地まで完歩し、目的地である遊具広場で元気に遊び、走り回っていました。



元気に完歩した子供たち

生涯学習市民講座

令和二年度の生涯学習市民講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開講期間を短縮し、講座回数を全三回として開講しました。

例年であれば、年間を通して十回程度開設していた講座内容を、初心者向けや体験導入型に変更するなど、講師の方にも対応していただき、七十人の方に受講していただきました。

- 【開設講座】
- ・書道
 - ・アロマクラフト
 - ・絵本講座
 - ・中国語講座
 - ・体操舞踊
 - ・着物着付け
 - ・日本の和楽器
 - ・お三味線教室
 - ・絵画講座
 - ・陶芸教室

中種子町



風立のまち
なかたね

チャレンジキッズ
「安納芋の収穫体験」

年間を通して体験活動等を行っている中種子チャレンジキッズの活動で、六月に苗を植えた安納芋の収穫体験を秋に行いました。最初、手で掘ると小さい芋から大きい芋までたくさん連なっていて、初めて収穫体験をする子供はとても感動していました。機械で全ての芋を掘り起こし、子供たちは、はさみで一つ一つコンテナへ仕分けをしました。途中で、事前に用意していた焼き芋をみんなで食べました。安納芋の甘さが疲れた身体にちょうどよく、何個も食べている子供もいました。コロナ禍で体験活動も思うようにできませんが、自然とふれあうよい機会となりました。



チャレンジキッズ「安納芋の収穫体験」

地域学校協働活動が
スタートしました

中種子町では、今までの「かごしま学校応援団」を引き継ぎ形で、今年度から地域学校協働活動に取り組んでいます。

本部に統括コーディネーターを一人と各校区に地域コーディネーターを配置しました。また、地域ボランティアを確保し、人材リストを作成しました。十一月十九日には、鹿児島大学法文学部の金子満准教授を講師に迎え、「地域学校協働活動の充実に向けて」の演題で研修会を行いました。

今後も、年二回の運営委員会や研修会を開催し、地域と学校が力を合わせて、先生、家族、地域住民が笑顔で生き生きと子供たちに接することができる環境づくりを目指します。

読書活動の取組

中央公民館図書室では、毎月第四土曜日の十時三十分から十一時までの三十分間でおはなし会を行っています。

読み聞かせボランティアグループの「なかたねおはなしパレット」による絵本の読み聞かせ、パネルシアター、エプロンシアター、お話とお話の合間にわらべ歌や指遊び、公民館図書室の職員による絵本のブックトーク等を取り入れて、子供たちと一緒に楽しくおはなし会をしています。

以前は図書室での開催でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、広々とした小会議室に場所を移しておはなし会を行っています。

参加者は、その月によって乳児、幼児、小学生と様々ですが、どの子供たちもワクワクした表情で目を輝かせておはなし会を楽しんでいる様子が伝わってきます。今後も読み聞かせをすることで本に親しみをもってもらい、読書の楽しさを知るきっかけづくりや読書に興味をもつ心を育むお手伝いをしていきます。



図書室おはなし会

中種子町の指定文化財

中種子町には二十八の指定文化財がありました。今年度六月に新たに一つ追加され二十九になりました。

国道五十八号線を野間から西之表へ向かう途中、旧国道から見える大渡瀬川に上ヶ尻川が合流する地点にある大



大平橋（納官校区）

平橋という名の石橋がそうです。橋長十五・六m、橋幅四・八m、拱矢九・四m、径間十・六五mのアーチ状の石橋で、昭和二年に桜島の石工の手で造られました。昭和四十五年の旧国道工事に伴い新たに新大平橋が架橋された後は農道として利用され、現在に至るまで、当時の状態をほぼ完全に保った形で残っています。

現在は使われていないため、土で覆われていましたが、昨年の三月下旬から四月上旬の間に整備され、現在は欄干部分もはっきり見えます。この欄干部分は架設当時は橋と同じ石材でしたが、洪水により崩壊したため、現在はコンクリート製に造り替えられています。

写真の地点に行くには、川へ降りて遠回りに歩く必要があるため、整備が必要そうです。

大平橋のような石橋は、全国的に壊される傾向があります。そんな中、現在まで残っている大平橋を保護・公開していくよう努めます。

南種子町

心ふれあつまちづくり 南種子町

みなみたね町民大学中央講座

「生きがいとぬくもりに満ちたまちづくりを目指して」

南種子町では、みなみたね町民大学を設置しており、町民に学習機会や趣味の場を提供し、生きがいとぬくもりに満ちた町づくりを進めるとともに、芸術・文化の振興を図ることを目的に中央講座である生涯学習講座を開講しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、開講が危ぶまれましたが、対策を十分に講じながら九つの講座を開講しています。

そのうちの二つの講座について、紹介します。

【子どもプログラミング講座】

学習指導要領の改訂により、二〇二〇年から必修化された「プログラミング的思考」を育てる教育。本講座においても、実践的なプログラミングは学ばず、考える力・学んだことを応用する力を養うことを目的として開講しています。町内の小学四年生以上の小学生を対象に募集を行ったところ多数の申込みがあり、その中から八人を講座生として決定しました。講師は、町内でIT関連の経営をされている方に依頼をし、講座開設の場所の提供やパソコン等の学習機材の準備を行っていただいています。講座生の子供たちは、

プログラミング言語学習環境である「スクラッチ」を学びながら、自作のゲームを作成する等、毎回の講座を楽しく学習しています。



子どもプログラミング講座の様子

【子ども図書館ボランティア養成講座】

昨年度、本町は読書活動推進計画を改定し、達成目標の中に子供たちに読書に興味をもってもらうこと、本を友人同士で紹介し合う環境・きっかけづくり、図書館ボランティアの養成を組み込んでいくことから、講座を開講しました。

受講生の子供たちは、館内のポップづくりや、おすすめ本紹介コーナーの制作などを行い、図書館司書の仕事を体験し、より一層本に親しむをもつことができたのではないのでしょうか。

今後、各年代の子供たちが本を紹介し合う「ビブリオバトル」を開催する予定としているので、町の子供たちに今よりもっと読書に興味をもってもら

う環境をつくれるよう、図書館・家庭・学校と連携していきます。



子供たちが制作したおすすめ本紹介コーナー

ウィズ・コロナの博物館活動 ～ヒロウイン・ナイト ミュージアム～

広田遺跡ミュージアムでは、令和二年十月三十一日に、夜間の博物館・史跡公園の体験イベント「ヒロウイン・ナイトミュージアム」を開催しました。開館五周年を記念し、広田遺跡語り部の会との共催で行われたこのイベントは、ヒロウインをイメージして実施されたものです。コロナ対策として、島内の方々を対象に、事前予約により三十分ごとに四十人の人数制限を行い、マスクを着用して屋外での実施とし、延べ人数で三百人以上の方が参加しました。

当日は、広田遺跡公園をライトアップし、クイズラリーも行い、参加者もスタッフも仮装をしました。クイズは、広田遺跡にちなんだもので、正解すると、「おかしの家」で語り部さんからお菓子をもらえるルールであり、参加者は楽しみながら広田遺跡について学ぶことができました。

また、種子島宇宙芸術祭の参加アーティスト「AKI INOMATA」さんによる「進化への考察#1.. 菊石 (アンモナイト)」が遺跡に投影されるなど、参加者は、いつもとは違う神秘的な夜の遺跡公園を楽しみました。



遺跡に投影された芸術作品



ライトアップされた広田遺跡公園

屋久島町

生き生きキラキラ元気あふれる屋久島町

青少年健全育成ポスター



各種犯罪やトラブルが多発する時代背景を受け、本町では携帯電話・インターネット・ゲーム機等の各種コミュニケーションツール等が及ぼす青少年を取り巻く問題への適切な指導や、ポスター・標語づくりを通じた意識化に取り組んでいます。

本年度も授業や夏休みの課題等で標語やポスターの作品募集に多くの児童・生徒が取り組みました。作品づくりを通して、さわやかあいさつ運動や、ケータイ（スマホ）と上手に付き合うことを子供たち自身が意識することができました。

優秀作品については、冒頭のポスターを制作して町内の施設や店

舗等に掲示しました。情報化社会に適応した安全で健全な地域環境づくりを目指しています。

町校外生活指導連絡会

「町水難事故・交通事故防止対策協議会」や「町校外生活指導連絡会」において、水難事故防止看板設置の意見が出され、学校及び各単位PTAと連携して看板を制作しました。河口や港など危険な場所三十箇所にてPTAや各区長が協力して看板を設置しました。



遊泳禁止箇所を設置した看板

ふれあいボランティア活動事業スタート

次代を担う子供たちのボランティア活動を認め励まし、活動への参加意欲や思いやりの心を育むことを目的とした標記事業が、町社会福祉協議会と町内小・中学校が連携して、今年度から始まりました。

児童や生徒が、学校や地域、子ども会でボランティア活動を行うと、ポイントカードにスタンプを押してもらえ、一定のポイントを貯めると活動認定証が交付されます。

屋久島町では様々な活動が行われているので、この事業を有効に活用してほしいです。



屋久島高等学校の生徒による自主的海岸清掃

ありがとうのはがき

「届けよう！ありがとうのはがきコンクール」を令和2年度も開催します。これは、家族や友達、周りの人や自分に対して、なかなか言葉に言い表せない「ありがとう」の気持ちを文章や絵・イラストなどで表現することで、自分の抱いている感情を確認したり、愛情や信頼の絆を一層深めたりする機会とするものです。

家族へ

15年間 愛情いっぱい育ててくれて
 タメなことは タメとちゃんと叱ってくれて
 毎日、ご飯を欠かさず作ってくれて
 大変なお仕事を して家族を養ってくれて
 悩んでいるときに 助けてくれて
 ぼんぼんかんだ 言っても お願いを聞いてくれて
 ワカマで 生意気な私をちゃんと考えてくれて
 本当に ありがとう。
 これから先も ずっと 沢山 迷惑をかけます。
 でも 感謝の気持ちを 忘れないうように 過ごすから
 どうか これからも よろしくね。

お母さんへ

わたしが家に帰って
 おちこんでいたら、
 なぐさめてくれて
 ありがとう。学校に
 行きたくないと思う
 時もあるけどお母さん
 のおかげで元気に
 学校に行けるよ。本当に
 ありがとう。

ありがとう

令和元年度の最優秀作品2点